

平成18年度第1回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会 議事録

- 1 日 時 平成18年8月4日(金) 午前10時から午後0時
- 2 場 所 宇都宮市立東図書館 2階 集会室
- 3 出席者
〔委員〕 石川栄子委員, 山口康夫委員, 山口京子委員, 小林充佳委員, 石川賢委員
(欠席 石嶋勇委員, 柴田富男委員, 長岡孝之委員, 小谷和弘委員, 敦見和徳委員)
〔事務局〕 西野視聴覚ライブラリー所長, 川上視聴覚ライブラリー副所長
ほか職員3名
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 運営委員委嘱の報告 委員の辞職があり新たに山口康夫委員を委嘱
- 7 議 事
(1) 報告事項
ア 平成17年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業実績について
イ 平成18年度視聴覚ライブラリー運営目標について
ウ 平成18年度視聴覚ライブラリー事業計画について
エ 平成18年度視聴覚ライブラリー予算
オ 平成17年度視聴覚ライブラリー決算
(2) 委員提案事項
(3) その他
- 8 発言の要旨

委員長: それでは, (1) 報告事項の「ア 平成17年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業実績」について, 事務局より報告を願いたい。

《事務局より, 資料に基づき一括して報告》

委員長: ただいまの利用状況及と事業実績について, ご質問等はないか。

山口(京子)委員: 16ミリフィルムの利用について, 児童福祉団体の方で, 学童保育が多いと思うのだが, かなり増えているとのこと。映写の内容についてだが, すでに教育的なものも上映しているとは思いますが, 教育的なものを多く入れて, 心を育てるとか, そういうテーマのものを多く入れていただくといいのかなと思う。低学年向けにアニメをとということがあるかも知れないが, すでに教育的なものも上映しているとは思いますが, あえてお願いをしたい。

小林委員：それに関して、やはり何か心に残るものをとということで、アニメばかりではなく、いわゆる映画、実写版を持って行っているということは聞いている。そのおかげで、皆と一緒に暗いところで見るので、色々と子どもの教育に役立っているという評判をいただいているようだ。

石川(賢)委員：先ほど、予算や人員に対して全国的にみると縮小というような話があったが、資料1-8や1-9を見るとこれは縮小できるような話ではなく、拡大しないといけない話だ。この辺の資料などを使って、もっとアピールされたらいいのではないか。あえて言うておくが、是非、主張されるといいのではないか。逆にこういう事業をやらなくなったときのことを考えたら、おそらくさらに多くの予算を要するのではないかと思う。

事務局：常に危機感を持ち続け、実績を積み重ねそれをアピールしていくということが大切だと思っている。

石川(賢)委員：是非、継続して努力いただければと思う。もう一点は、そういう右肩上がりの背景には、先ほどからの話を伺うと、「うつのみや映写ボランティアの会」の方々の貢献というのがかなりあるのではないかと思う。その辺の苦労のあるところを、会長である小林委員がおられるので、聞かせていただきたい。

小林委員：児童福祉が極めて多いというのは、ほとんど毎日のように映写しているからで、場合によっては、1日3回場所を変えてということもある。1回あたりの人数は少ないが、10人とか20人ぐらいなのだが、やはり数をこなしているということがこういう結果になっているかと思う。

この他にも高齢者福祉では、デイサービスだと皆さん映画を理解していただいけ、いわゆる老人ホームにも会では行っている。あまり認知症の進んだ方は、もう施設の方で無理だからということで連れては来ていただけないが、その他の方や車椅子で来られるような方は、やはり1時間場合によっては2時間近いものでも見ておられる。「良かった」と言って涙ぐまれたり、帰りに「またお願いします」と言われるぐらい期待されている。そういうものは、私たちの「これからもやらなくては」ということの原因力になっている。

もうひとつは始まったばかりだが、大きな病院の小児病棟での映画会がある。重病で学校に行けなかったり、感染症に罹ってはいけないというので外に出られない子どもたちのために、年に何回か行きたいと思い努力しているところだ。

それから、一般的な子ども会、育成会、あるいは公益的団体等には、「こういう時にやってほしい」、あるいはこちらで「こういうのがあるがどうか」と声をかけて、団体からも何かやりたいときには声をかけてもらっているというのが、現在の状況だ。これからも頑張っていきたいと思っている。

石川(賢)委員：何人ぐらいでされているのか。

小林委員：会員は約100名だが、実際に活動を把握しているのは2,30名だ。その他の方は、直接ライブラリーから借りて映画会をしているが、報告がないので分からないところがある。児童福祉関係については、一人の方が熱心にやっていたいている。

石川(賢)委員：まったくのボランティアでされているわけか。

小林委員：はい。先ほどライブラリーの主催事業と一緒に報告のあった地域映写会というのは、10か所あるが、市から1か所5,000円の委託金をいただいている。

委員長：他にないか。

(質問なし)

委員長：次に進みたい。次の「イ 平成18年度視聴覚ライブラリー運営目標について」と「ウ 平成18年度視聴覚ライブラリー事業計画について」, 「エ 平成18年度視聴覚ライブラリー予算」, そして「オ 平成17年度視聴覚ライブラリー決算について」は関連があるので、事務局から一括してご説明いただきたい。

《事務局より、資料に基づき一括して報告》

委員長：ご質問、ご意見等あったらお願いしたい。

山口(康夫)委員：地域映像の収集保存についてだが、今の子どもたちは昔のことを知らないわけで、これには力を入れていただきたい。宇都宮市はこういう歴史があって、こういうふう発展してきた。また、戦後もこういう形で復興してきたというのは、やはり小・中学生、高校生ぐらいの方には見ていただきたい。こういう形で先人たちがやってきたのだから、我々もこれを受け継いでいこうということで、大変に貴重なものではないかと思う。まして個人の方が持っている8ミリというのは、特に地方のお祭りなどの映像というのは貴重なものがあると思うので、是非とも推し進めていただきたい。

山口(京子)委員：感想になるがよろしいか。パソコン講座のホームページ作成というのを企画していただき、私も参加させていただいた。すごく丁寧で分かりやすく、これが無料というのはもったいないと感じた。私は、何かの全国大会の研修会などにも出席するが、ライブラリーの講座は時間をかけてゆっくりやっていて、パソコンが出来る方にとってはなんでもないことかもしれないが、資料も作ってあり家で復習ややり直しができる。今まで広報で募集しているパソコン講座に申し込んでも、なかなか当たらずに出来なかった。ライブラリーの講座では幼稚園、保育園の先生方が参加でき、また、すごく分かりやすかったということと素人でも出来るようになったということで大変好評だった。是非これからも、続けていただきたい。

委員長：是非続けてほしいということだが、事務局、このことで何かあるか。

事務局：関連した講座についてご報告したい。今年度から、幼稚園・保育園を対象としたビデオ講座を試行的に実施している。幼稚園・保育園では卒園ビデオの制作をされているかと思う。一年間なりの記録をビデオに撮り、それを卒園のときに記念としてDVDなどで差し上げるという事業を、市内の幼稚園・保育園で大変な思いをされて行っているかと思う。そういう大変な思いをされておられることを私達でサポートしたいということで、卒園ビデオの作り方についての講座を始めた。撮影から編集まで、編集は音楽を入れたりなど、ライブラリーにあるデジタル編集機を使えば高画質で思い通りの編集ができる。これまでも、ビデオカメラの操作など一般市民向けのビデオカメラ入門講座をやっているが、それを拡大し、幼稚園・保育園の先生方向けに上手な卒園ビデオの作り方ということで、撮影から編集までの講座を開催している。広報誌に載せればいいのだろうが、現在の人員では希望者が多数あった場合、対応が難しく迷惑をかけることになるので、現在は口コミでいくつかお話をさせていただき、いくつか予約で埋まっている状態だ。幼稚園・保育園が休みの土日にかけて、先生方へ出席いただけるよう日程を調整しながら開催している。

山口(京子)委員：私の園でも行事ごとにビデオで毎回撮ってあるが、それを一本にまとめるということは、園としては今まで行ってない。年間の行事や一日の流れのようなものをビデオで作りたいという思いはあるが、業者に依頼すると結構な費用がかかるそうだ。編集が出来る方は、自分たちで撮影してあるから、それを繋ぐだけだというのが、なかなか難しい。私の園では、たまたまそれを仕事にしている保護者がおられて、保護者会で行事ごとに担当者が撮影をして、卒園のときに一本にまとめてということがここ2、3年続いている。行事の記録用には撮ってあるから、いつかは一本にまとめたいという思いがあるので、是非教えていただきたい。機械の操作も簡単になってきているということなので、是非参加させていただきたいと思う。ほかの園でも、行事ごとには撮っていても、それを一本に繋げるということはなかなかしていないという話を聞いている。そのため業者からの案内がよく送られてきている。この講座のことは、是非宣伝したいと思う。

委員長：他にご質問、ご意見はないか。

委員長：他になれば、次の「(2) 委員提案事項」に移りたい。委員の皆様から「視聴覚ライブラリー」の運営などに関してご意見、ご提案などがあれば、是非お願いしたい。どのようなことでも結構なので、ご発言をお願いしたい。

石川(賢)委員：先ほどから、「うつのみや映写ボランティアの会」の色々な貢献についてお伺いしているが、これに対して今までに何らかの形で感謝の意は表している

のか。

小林委員：会は全面的にライブラリーのご支援をいただき、機材など色々と配慮をいただくなど便宜を図ってもらっている。

石川(賢)委員：私は、やはりボランティアではあるけれども、地域の子どもの健全育成であるとか、地域の福祉などに非常に貢献しているのではないかと思う。さらにライブラリーの事業推進にも大きく貢献されていると思う。そういう意味で、先ほど50,000円で地域映写会を委託されているとのことだったが、気持ちの面でその貢献に何らかの形で表すということがあってもいいかなと考えた。具体的にどうするかは事務局が色々検討することにして、所長あるいは市長でもいいから、何らかの形で謝意を表すということがあってもいいかなと思って聞いていたので、ご検討いただければということだ。

山口(京子)委員：先ほどのパソコン講座も資料代ということで、有料になってもいいのではないか。何かの大会に行くと資料代を取られる。

事務局：行政の場合には、検討を要するかと思う。また、公立の保育園も対象としているので、有料とした場合、同じ行政から徴収できるのかということがある。パソコン講座に関しては、ほとんど経費がかからないので、今後も無料で実施したいと考えている。他のところで節減し、「うつのみや映写ボランティアの会」の皆さんに気持ちを伝えていけるような予算を組めるよう努めたい。

委員長：他に事務局から何かあるか。

事務局：過日、実施した「ビデオ教材の利用等に関するアンケート」の結果について、参考までにご報告したい。

《事務局より、資料に基づき報告》

このアンケート結果を踏まえて、今後とも利用されるビデオ教材の制作に努めたいと考えている。

委員長：ご質問、ご意見等あったらお願いしたい。

(質問なし)

委員長：他に事務局から何かあるか。

事務局：次回会議の開催日程について、来年2月に第2回目を考えている。具体的な日程については委員長と協議して、改めて皆様にご通知を差し上げたいと考えているが、いかがか。

委員長：次回会議の日程について、そのような取扱いでよろしいか。

各委員：(「結構です。」との声あり)

委員長：次回の会議日程については、事務局と調整して、後日、委員の皆様にお知らせしたい。他になければ、これをもって本日の運営委員会の審議を終了し閉会とする。委員の皆様のご協力を感謝します。